

I 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

- a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。
- b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。
- c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。
- d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

- a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。
- b 加点要素でも減点要素でもない部分もあります。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

- a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。
  - b 脱字。
  - c 文末の句点の脱落。
  - d ※字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。
  - e その他不適切と判断せざるをえない箇所。
- 理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。たとえば「…とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。
- ※ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

- a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。
- b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。
- c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。
- d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

問一 5 点 二

問二 10 点

(模範解答例)

A 3 点

対比、均斉、調和、平衡等のバランスを辛うじて保った町は

B 2 点

一つの不注意な失策をすることで、

C 5 点

崩壊と死滅につながる危険性をはらんでいたという問題。

各加点要素の加点の条件

【A・B・Cに関して部分採点を行う(A・B・Cそれぞれ単独に採点を行って構わない)】

A 町が対比、均斉、調和、平衡等のバランスを辛うじて保っていたこと(周囲との対比や均斉を

失わないよう、デリケートな注意がされていたこと)：3点

\* 「非常に繊細な注意によって、人為的に構成されている」はやや抽象的(1点減)

\* 「対比、均斉、調和、平衡等のバランス」の指摘がない場合はマイナス1点

\* 修飾関係が曖昧な場合はマイナス1点。具体性を書ける場合はマイナス2点

B 一つの不注意な失策をする(美的法則を破ってしまう)場合が想定されている：2点

C 崩壊と死滅につながる危険性をはらんでいたこと：5点

\* 「危険性」の指摘がない場合は1点マイナス

問三 8点(各4点) X || ハ Y || ホ

問四 5点 イ

問五 5点 ホ

問六 12点

(模範解答例)

A 3点

人間の価値観が強く関与する裁判や懲罰には、

B 5点

鶏を襲う狐を退治するにもかかわらず、鶏を殺して食べることに罪悪感を抱かないことと同様の

C 4点

身勝手な正義感が感じられるから。

各加点要素の加点の条件

【A・B・Cに関して部分採点を行う(A・B・Cそれぞれ単独に採点を行って構わない)】

A 裁判や懲罰には人間の価値観が強く関与することの指摘…3点

※説明が曖昧な場合は2点マイナス

※「価値観」にあたる指摘がない場合はマイナス1点

B (父親や使用人は)鶏を襲う狐を退治するにもかかわらず、鶏を殺して食べることに罪悪感を

抱かないこと(鶏を保護の対象としながら、食用にするという矛盾)の指摘…5点

※具体性に欠ける場合は2点マイナス

C 身勝手な正義感が感じられることの指摘…4点

※「疑わしく思う」など曖昧な場合は1点マイナス

※「私」を「筆者」としている場合は1点マイナス

問七 5点 □

大問二 問一

基準 配点.. 2点×4

■模範解答 ※解答例通り (漢字書き取り問題)

- 1 担保
- 2 変貌
- 3 迎合
- 4 解析

大問二 問二

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素B不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 6点

■模範解答

A

誰にでも再現可能な実験手法を用いることで、

B

研究者が示す仮説の正しさが証明できるようになったから。(48字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…五十字以内 二十四字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 誰にでも再現可能な実験手法を用いることで…3点

- ・「実験研究」が「誰にでも再現可能なもの」であることについて説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B 研究者が示す仮説の正しさが証明できるようになったから…3点

- ・「実験研究」によって「仮説の正しさが証明できるようになった」ということの説明をしていないものは、要素B加点数なし

大問二 問三

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素B不可
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 6点

■模範解答

A  
主観的な意見を

B

すり合わせて妥協点を探り出して解を見出すこと。(30字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…三十字以内 十四字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 主観的な意見を…3点

- ・「日常の場の意見」を「主観的な意見」と言い換えていないものは、要素A加点数なし

■要素B すり合わせて妥協点を探り出して解を見出すこと…3点

- ・「意見の相違の調整」を「すりあわせ」「妥協点」いずれかを使って説明していないものは、要素B加点数なし

大問二 問四

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(抜き出し問題)

単に自然を観測する科学研究

大問二 問五

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(記号選択問題)

□



大問二 問六

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答

A

科学は真理の追究をする学問であるから、

B

その研究の結果は絶対的な真実だと考えられる面があるが、

C

実際の研究はあるパラダイムの中での考え方に基づいて行われ、

D

その反証をする別のパラダイムが登場すれば、新しい理論に変わっていく可能性を持っているから。(120字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百二十字以内 五十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 科学は真理の追究をする学問であるから…3点

・一般的な考え方として、「科学は真理を追究するものだ」ということの説明をしていないものは、要素A加点数なし

■要素B その研究の結果は絶対的な真実だと考えられる面があるが…3点

・要素Aには「絶対性があると考えられている」ということを説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C 実際の研究はあるパラダイムの中での考え方に基づいて行われ…3点

・「科学はあるパラダイムの中で行われている」ということを説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D その反証をする別のパラダイムが登場すれば、新しい理論に変わっていく可能性を持っているから…3点

・要素Cであるから「別のパラダイムの登場で理論は新しくなる」ということを説明していないものは、要素D加点数なし  
・別のパラダイムの登場による反証「新しい理論に変わる」という内容いずれかが抜けている場合は2点マイナス  
・「可能性」ではなく「常」などになっている場合は2点マイナス

\*「教義」を「宗教的教え」と、言葉の意味通り説明しているものは、加点数なし。

「科学は宗教的教えのようなもの」としていればよい。

\*「パラダイム」は「ある科学者集団に共有されている見方」が本文中の使われ方だが、「ある時代の人々の見方」としたのも可とする。

\*全般的に言葉の不足と考えられるものが多いかと思う。「別のパラダイム」「覆される可能性がある」などが顕著である。

大問二 問七

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(記号選択問題)

水

★2021年度 早慶上智・難関国公立大模試 第3回

〔三〕(古文『成尋阿闍梨母集』) 採点基準 ※50点

※ 誤字・脱字・読めない字・意味が通じない表現などは、程度に応じて、配点範囲内で減点。

問一① 二重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔二重傍線部〕 気色はしたまへるに、

〔正解〕 A2へ (存続)

〔ポイント〕

A 【2点】へ

※ 「へ」以外は×。

問一② 二重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

【2点】

〔二重傍線部〕

いかなりける契りにか

〔正解〕

A2

ト (断定)

〔ポイント〕

A 2点

ト

※「ト」以外は×。

問一 ③ 二重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

【2点】

〔二重傍線部〕

しばし侍らんずる所は、

〔正解〕

A 2

ハ (婉曲)

〔ポイント〕

A 【2点】 ハ

※ 「ハ」以外は×。

問一④ 二重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

【2点】

〔二重傍線部〕 捨ててこそあなれ。

〔正解〕 A2 子 (伝聞・推定)

〔ポイント〕

A【2点】 子

※「子」以外は×。

問二 ㊤ 傍線部を現代語訳せよ。

【5点】

〔傍線部〕

A1 今日だに B1 とく C3 おはせよかし

〔解答例〕

A1 せめて今日だけでも B1 早く C3 いらっしゃってくださいね

※採点方法 各要素単独採点。

※字数 指定なし。

〔ポイント〕

**A【1点】** 今日だに ↓ せめて今日だけでも

※「今日だけでも・今日だけは・せめて今日は・せめて今日くらいは・今日くらいは」等でもよい。

**B【1点】** とく ↓ 早く

※「すぐに・ただちに・すみやかに・急いで」等でもよい。

**C【3点】** おはせよかし ↓ いらっしゃってくださいね

※「来い」の意があれば**【1点】**。尊敬の意を含む「いらっしゃい・来て下さい・おいで下さい」等になっていれば**【2点】**。

※右の得点があるうえで、「かし」の念押しの際「〜ね・〜よ・〜な」があれば、右の得点に**プラス1点**。



〔傍線部〕

A1

親なりとも、

B2

いかが

C2

具し聞こえ

(B)

んとする

〔解答例〕

A1

たとえ親であっても、

B2

どうして

C2

お連れする

(B)

ことができようか

※採点方法 各要素単独採点。

※字数 指定なし。

〔ポイント〕

A【1点】親なりとも、 ↓ たとえ親であっても、

※「親であっても・たとえ親でも・親でも・親であったとしても・親と言えども」等でもよい。

B【2点】いかが ↓ んとする ↓ どうして ↓ ことができようか

※「どうして」は「なぜ」でもよい。

※「どうして・なぜ」があり、文末が反語になっていれば【2点】。

※「どうして・なぜ」がなく、文末が反語になっている場合は【1点】。

※「どうして・なぜ」があるが、反語にとれない場合は×。

※反語は「くか、いいや、くない」でなくても、「くできようか・くできるか・くられようか・くはずがある  
うか」等でもよい。

C【2点】具し聞こえ ↓ お連れする

※「連れる・連れて行く・一緒に行く・ともに行く・同伴する」等の意があり、謙譲の意「おくする・く申し  
上げる」もあれば【2点】。

※「連れる・連れて行く・一緒に行く・ともに行く・同伴する」等の意はあるが、謙譲の意がない場合は  
【1点】。

問二 ㉔ 傍線部を現代語訳せよ。 【4点】

〔傍線部〕 (A2) B―いたく C―思はじ

〔解答例〕 A2 成尋のことは B―あまり C―考えないようにしよう

※採点方法 各要素単独採点。 ※字数 指定なし。

〔ポイント〕

A【2点】補い( ) ↓ 成尋のことは

※「成尋のことは」の意があれば、「成尋がないことは・旅先の成尋のことは」等でもよい。

※「息子のことは」となっている場合は【1点】。

B【1点】いたく ↓ あまり

※「あんまり・それほど・さほど」、「または」特に・特別・ことさら・格別・別段・取り立てて・深く・熱心に「等でもよい」。

C【1点】思はじ ↓ 考えないようにしよう

※「考えまい・思ふまい・思わないようにしよう」でもよい。「思う・考える」が他の心情表現になっている場合は×。

問三 傍線部は成尋のどのような様子か。その説明として最も適当なものを選び、記号で答えよ。

【4点】

〔空欄部〕

鳥などの人を見て飛び立ちぬる気色

〔正解〕

A 4

ホ

（帰って来たと思っただけでまたすぐに出て行こうとする、あわただしい様子。）

〔ポイント〕

A【4点】ホ

※「ホ」以外は×。

問四 傍線部「……」とあるが、成尋が「大殿」たちの手紙に応じないのは、どのような考えによるのか、五〇字以内で説明せよ。 【8点】

〔傍線部〕 大殿よりもこと殿ばらよりも御文どもあれど

〔解答例〕 **A2** 悟りを求める修行者は、**B4** 世俗におけるあらゆる関わりを捨て去って、**C2** 修行に没頭すべきであるという考え。(四八字)

※採点方法 各要素単独採点。ただし、**A**は赤字の条件あり。

※字数 五十字指定。(字数が少ないことによる減点はしない)

〔ポイント〕

**A**【2点】 悟りを求める修行者は、

※**B**も**C**も**0点**の場合は得点できない。(ただし、誤字等で**0点**になっている場合は除く。)

※「悟りを求める者は」でもよい。

※「悟りを求める」がない「修行者は」は【1点】。

**B**【4点】 世俗におけるあらゆる関わりを捨て去って、

※「世俗(俗世・俗世間)」と関わりを絶つのがよいという考え【4点】。

「世俗(俗世・俗世間)」の価値観を捨てて「でもよしとする。」

※「世俗(俗世・俗世間)」が「世間・世の中・この世」となっている場合は【3点】。

※右の意がない【4点・3点】の得点がない場合で、

**B** ④ 「貴いこと(貴人に関わること)も捨てて」という内容がある場合は【2点】。

**B** ⑤ 「避けられないこと(断れないこと)も捨てて」という内容がある場合は【2点】。

**C**【2点】 修行に没頭すべきであるという考え。

※「修行すべきだ」の意があればよい。

※文末が「考え」になっていない場合は、全体からマイナス1点。

問五 傍線部について、この時の筆者の心情を説明せよ。

【6点】

〔傍線部〕

なかなかおはして驚かし給へる悲しさ

〔解答例〕

**A3** なまじ成尋に会えたことで、かえって**B3** 再びの別れがたらくなっている。

※採点方法 各要素単独採点。ただし、**A**は赤字の条件あり。

※字数 指定なし。

〔ポイント〕

**A**【3点】なまじ成尋に会えたことで、かえって

※**B**が0点の場合は得点できない。(ただし、誤字等で0点になっている場合は除く。)

※「成尋に会えたことで・成尋に再会できたので」等の意があれば【2点】。

※右の意がある上で、「なまじ・なまじっか・中途半端に」等、もしくは「かえって・むしろ・余計に」等の表現があれば【3点】。

**B**【3点】再びの別れがたらくなっている。

※「再びの」の有無は不問。

※「別れがたらい」という内容があればよい。「つらい」「は」「悲しい・苦しい」「等でもよい。

※「別れが」がない「つらい・悲しい・苦しい」は【1点】。

問六 傍線部の和歌を、なぜ「頼む方なき」なのかを明らかにして解釈せよ。

【8点】

〔傍線部〕

A2 祈りても B2 影みたらしと

(A)

いふべきに

(C2)

D2 頼む方なき神無月かな

※ 「みたらし」には「神社で手や口を清める」「御手洗」に、「見たし」の意を掛けている」の注あり。

〔解答例〕

A2 御手洗で身を清めて祈っても、

B2 成尋の姿が見たいと

(A) 神に言うべきところだが、

C2 神がいらないという月なので、D2 頼りにしようもない神無月であるなあ。

※採点方法 各要素単独採点。

※字数 指定なし。

〔ポイント〕

A【2点】祈りても、いふべきに、御手洗で身を清めて祈っても、神に言うべきところだが、

※解答全体から見て「神」の意がない場合はAは得点できない。

※①「祈って」・②「言うべき」・③「だが」（逆接）の意、及び、④「御手洗で（手や口を）清めて・御手洗で手を洗って・御手洗で手や口を洗って」等があれば【2点】。①～④が一つ欠けるごとにマイナス1点。  
ただし、減点はAの【2点】からし、0点以上のマイナスにはしない。

※「御手洗ではないが見たい」の「御手洗ではないが」は①に相当しない。①の「御手洗」は身を清めるものとして説明されている必要がある。

B【2点】影みたらしと、成尋の姿が見たいと

※「成尋の姿が見たいと」の意があれば【2点】。

※「姿」がない「成尋に会いたいと」は【1点】。

※「～したい」がない「成尋の姿を見ること」は【1点】。

※「姿」も「～したい」もない「成尋を見ること」を「成尋に会うこと」は×。

※右の状態で、「成尋」が明らかでない場合や、「成尋」が「息子」となっている場合は、それぞれからマイナス1点。

ただし、減点はBの【2点】からし、0点以上のマイナスにはしない。

C【2点】(補い) ↓ 神がいらないという月なので、

※「神無月は神がいらないので・十月は神がいらないので」の意があればよい。

※「神無月は神がいらない・十月は神がいらない」の意はあるが「ので」がない場合は【1点】。

※「神がいらない」という説明がない「神無月なので」等は×。

D【2点】頼む方なき神無月かな ↓ 頼りにしようもない神無月であるなあ。

※「頼れない（あてにできない・甲斐がない・頼めない）」の意がない場合は×。「仕方がない・どうしようもない」では×。

※「神無月は・十月は（「頼れない」の対象）」「頼れない」「なあ（詠嘆）」の三つがあれば【2点】。

※「頼れない」「なあ（詠嘆）」の二つがあるが、対象が書かれていなかったり、「神無月・十月」以外になつている場合は【1点】。

※「神無月は・十月は（「頼れない」の対象）」「頼れない」の二つがあるが、「なあ（詠嘆）」がない場合は【1点】。

※「頼れない」があっても、「神無月は・十月は（「頼れない」の対象）」も「なあ（詠嘆）」もない場合は×。

問七 『成尋阿闍梨母集』は平安時代成立の私家集で、日記文学としても知られる作品である。次のうち  
平安時代成立の日記文学ではないものはどれか、一つ選んで記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 A 2 ハ (十六夜日記)

〔ポイント〕

A 【2点】 ハ

※ 「ハ」以外は×。

2021年度 第3回 早慶上理・難関国公立大模試「近古史談」

四 (漢文) 採点基準 (合計150点)

問一 【解答通り】各2点 2×4=8点

解答

a||ひそかに b||つぐなえ(と) c||けだし

d||ついで

採点基準

- ・送り仮名のないも0点 例 a「ひそ」ひそか b「つぐな」 c「けだ」  
d「ついで」
- ・仮名遣いの誤り0点 例 b「つぐなへ」 d「ついで」
- ・bの「と」は不問。



問二 各4点

(有名大のAは6点)

a 2点      b 2点

解答例

A 自分から 罪に服したい と願いだした。

採点基準

・ a 「自首」のままは不可。「自ら」と願いでた」など可。

「申し出た」「名乗り出た」などには1点加算。

「願った」「思った」「考えた」のみは不可。

・ b 「罪を赦してもらおう」「赦免を願う」は不可。

「罰を与える」「罰を請う」も可。

解答例

d 2点

e 1点

f 1点

C 思いやる

べき

余地がある。

採点基準

・ d 「大目に見る」「軽減する」「同情」など許容。

「許す」のみの場合は不可。

・ e 当然または適当でやくしていれば可。

・ f 「ところ」など許容。

問三

【解答通り】

4点

解答

追究也

問四

8点

解答例

a 1点

b 1点

c 2点

まして

八郎兵衛の罪は

旧領主の代のことであるから、

d 2点

e 2点

必ずしも

罪を追求しなくともよい

採点基準

b 「八郎兵衛」はなくと可。

b 表現が明確でなくとも、eで「罪を」など表現があれば、加点する。

c 「旧領主の時のこと」に1点、

「ので・から」の原因・理由の表現に1点。

「〜については」も可。

e 「追求」を「追究」「追窮」とするもの減点！。

問五 各3点 3×2＝6点

解答

X＝小

Y＝大

問六

【解答通り】 6点

解答

欲<sub>三</sub>以<sub>レ</sub>此損<sub>二</sub>其富<sub>一</sub>也

採点基準 ・送り仮名をつけているもの…不可。

## 解答例

a 1点

b 1点

c 2点

不正を働いた 八郎兵衛を、ただ処罰するのではなく、

d 2点

e 1点

儲けを吐き出させることによって 償わせよう としたのは、

f 1点

g 2点

恩愛は感じられるが 威厳という点が不足しているということ。

## 採点基準

全体：字数が六十字以上ならば、要素が入っていれば加点する。

文が完成していないものは0点。

前半部分 (a～e) 7点

a…「詐欺をした」「不正をした」など1点。

「罪を犯した」は1点。

「自分の罪を認めた」など1点。

b…「八郎兵」も可。

c…「刑罰を与えず」は0点。

d…「社会に返還」「民への貢献」など抽象的なものは0点。

e…「処罰した」は1点。

\* 「かえって富を増やすことになった」

「利益がでて罰にならなかった」など、模範答案に触れられていない答案も加点する。

ただし、a～eで7点を越さない。

採点基準

後半部分 (f・g) 3点

f…「恩愛」「思いやり」など1点。

「恩寵」は×。

g…「威厳」「威信」「威光」「権威」など2点。

以上